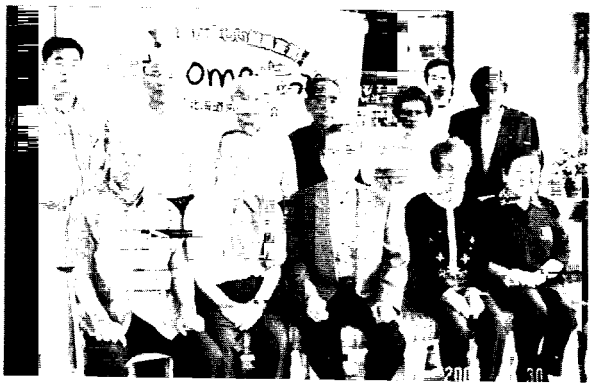
っと飛躍した感覚でしょうか。そんな優秀な患者さんのせいか，審査にも少し時間がかかりました。

最終的には1位から3位までを決めて，その中でお2人を道歯の方へ推薦し，来ていただいた全員を美唄のイベントで表彰させていただくことになっております。

当日はお忙しい中，宝崎会長をはじめ，小森副会長，大坪専務，それに事務の近藤さんに来ていただき，私も楽に健診を行うことが出来ました。また，来年はもっと元気な沢山の高齢者に会えるのを楽しみにしております。美唄歯科医師会の先生におかれましては患者さんの選択が大変と思われますが，次年度もよろしくお願いいたします。

（孫　泰一記）



石の舞台で能の美極致

7月，両陛下のご視察をいただいた美唄市東明の，美唄市出身の彫刻家，安田　侃（かん）氏の彫刻が並ぶ，庭園施設「アルテピアッツァ美唄」において，9月6日無形文化財に指定されている東京在住の能楽師，當山孝道師が能を披露し，約千人が美しい舞を堪能した。開演は午後五時半，薄暮の幻想的な舞台にするための演出でもあろうか。

能は通常ヒノキの舞台で舞うが，石の舞台はイタリア産の大理石でできている。能楽師の當山師は「趣向が面白い」と快諾をしたという。

来場者の手によって舞台上に生けられたススキを前に，きらびやかな衣裳を身にまとった當山師は，幅二十メートル奥行き十メートルの大理石の

高齢者の歯のコンクール

9月6日㈯午後1時から当医院において，毎年恒例の“高齢者の歯のコンクール”が開かれました。

例年，この行事のために80歳で20本以上の歯を保有している患者さんを探すのに美唄歯科医師会の諸先生は苦労されているとお聞きしております。しかし今年は先生達の頑張りのせいか(？)例年よりも多い人数が集まり，審査する私はちょっと嬉しい驚きでした。さらに例年に比較して残存歯に未治療の歯が多いことにも驚きました。

私は学校健診でお子さんのむし歯が減ったと感じ始めてからかなりの年月が経ちますが，お年寄りも同じ傾向になったように感じるのは，私のちょ

舞台で，世阿弥作の「井筒」を披露した。観客は照明で夜空に浮び上がった，真白な舞台で繰り広げられる幻想的な能に見入って，時のたつのも忘れて堪能していた。古典芸術と前衛芸術の結び付きが，少しの違和感も感じさせなかったのは，流石といえる。　（雨田　実記）